

那覇西ロータリークラブ

国際ローター 2580 地区 創立 1962 年 6 月 4 日

2024年2月21日 週報 第2714号



那覇西ロータリークラブ年間テーマ

「親睦を深め問題意識を共有し、奉仕の心を育む」

四つのテスト

- | | |
|---------------------|----------------------------------|
| 1. 真実かどうか | 本日のプログラム |
| 2. みんなに公平か | 2月21日(水) |
| 3. 好意と友情を
深めるか | ・点鐘
・ロータリーソング |
| 4. みんなの為に
なるかどうか | ・日も風も星も
・会長報告
・幹事報告
・立食 |

例会報告

第2838回(2024年2月14日) 出席報告

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回 訂正出席率
55名	35名	19名	64%	60%

欠席会員

石川、安里(清)、新垣(裕)、上原、大城(博)、福重、久保、渡慶次、城間、石垣、照屋(紀)、照屋(圭)、松野下、小豆澤、上間、福本、稲嶺、梅林、大城(美) 会員

メイクアップ会員

大城純市(2月10日バギオ)

比嘉広明()

丸橋弘和()

新垣裕道(2/14宜野湾)

ビジター

河合耕治(那覇)

ゲスト

富島美樹(新会員)

西原 隆(ゲストスピーカー)

クララさん(青少年交換学生)

ニコニコ BOX(2024年2月14日)

合計 ¥4,000 累計¥232,000

大城純市 第45回バギオ訪問交流の旅に行っておりました。とても有意義な交流でした。

会長 中村 敦 副会長: 慶佐次 操・三浦 勉

幹事: 比嘉芳直

例会日 毎週水曜日 12時30分

例会場 沖縄ハーバービューホテル

事務局 那覇市松山1-1-14 那覇共同ビル6階

TEL: 861-7824 FAX: 861-7825



比嘉広明 先週バギオ訪問へ参加してきました。有意義な内容でした。来年はより多くの皆さんで参加しましょう!

2月度誕生祝い

名幸俊海(2月2日) 大城純市(2月5日)

豊村良春(2月9日) 城間 一(2月23日)

1月度皆勤バッジ

石川正一(41年) 小林 充(7年)

新会員紹介

新会員: 富島美樹

会社名: 沖縄観光商事(株)

役職: 副社長・女将

職業分類: 観光ホテル

趣味: ドライブ・読書

会長報告



今日は人口減少についてです。沖縄県の生産年齢人口は9の町村で今より4割以上減少するという報道がありました。今でも人手不足が大きな問題となっているのに、さらに拍車がかかるということです。人手不足により、今までのようなサービスを受けられなくなる可能性もあります。このような状況を考慮してビジネスを構築していく必要があるのではないのでしょうか。これは将来におけるロータリーの組織の在り方にも影響が出てくる

のではないかと考えております。さて、本日の卓話の西原隆さんは実は高校の同期です。後ほどの卓話よろしくお願
いいたします。また、先週木曜日から大城会員、比嘉会
員、丸橋会員がバギオに行かれております。後ほど報告が
あるかと思ひます。また、インターアクトの年次大会の報
告書も皆様のお手もとにあるかと思ひます。ぜひご一読く
ださい。2週間後には地区大会もあります。よろしくお願
いします。

入会式 富島美樹新会員



ジョンソンさんからご紹介いただきました。皆様のお仲間になれたのはよかったですと思ひます。今年からやりたいと思ひていることは口腔ケアで沖縄の子供達の虫歯の罹患率を下げたいのでその活動を行って

きたいと思ひています。今後ともよろしくお願ひいたします。

幹事報告

本日の卓話の西原代表は私比嘉と中村会長との高校の同級であります。よろしくお願ひします。

名護ロータリークラブよりメイクアップのご案内

令和6年3月6日(水) 12:30

参加費: 2,000円

講師: 石毛宏典氏(元プロ野球選手)

卓話演題「私の挑戦」

会場: ホテルゆがふいんおきなわ3階

定員: 20名(要事前申し込み)

申込先: 名護ロータリークラブ

電話: 0980-53-4568

申込期限: 3月1日(金)まで

例会変更のお知らせ

那覇ロータリークラブ

さんご苗の植え付け作業の為

日時: 3月6日(火)→10日(日)

場所: さんご畑(読谷村内)

会員家族のみで開催致します。

那覇北ロータリークラブ

那覇看護専門学校

「夢フォーラム」開催

日時: 2月22日 13:30~15:30

場所: 那覇市医師会那覇看護専門学校

基調講演 へき地医療について

県立南部医療センター・こども医療センター

医師 山城啓太様

バギオ訪問報告 大城純市会員

先週木曜日から5日間、バギオに行ってまいりました。子供達に文房具、サッカーボール、バスケットボールをプレゼントしてきました。家庭訪問もしてまいりました。しかし、まだまだ支援が必要であると感じております。来年はより多くの皆様のご参加をお願ひいたします。

卓話 「沖縄の赤土等流出から考える未来」

NPO法人おきなわグリーンネットワーク

理事長 西原隆氏

沖縄の赤土がサンゴや海に影響を与えてしまうという課題があります。温暖化により有機物の分解が早く、有機物が蓄積しないのでさらさらした感触となり、その結果赤土が流出しやすくなっています。強い雨も影響しており、沖縄は小さいので、川からすぐに海に流出します。歴史としては69年前のパインの栽培から流出が始まったと考えられています。当時は環境を考慮した農業をしていなかったほか、大規模な公共工事などにより水産業に大きな影響を及ぼしました。それを受けて平成7年に県の条例として赤土等防止条例が制定されました。実は海洋生物の25%はサンゴに依存して生きていると言われていて、サンゴがいるから沖縄の海は透明度が高いと言われていて、サンゴに赤土が堆積すると光合成ができなくなり、中の褐虫藻が栄養分を作り出せなくて死んでしまいます。サンゴの経済価値ってどれくらいあるのかが気になり、調べたところ少し古いデータですが、環境省が試算しておりまして、2500~3000億円くらいの価値があるとのこと。また、赤土がどれくらい流出しているかという、年間で245,900トン、小学校のプールに換算すると680杯分に相当します。これらを防ぐために、農業環境コーディネーターを設置して、いろいろな対策を施しています。例えば、裸地のような状態にある土地を減らせば赤土の流出を減らせますので、農業に有用な植物を利用して植樹したりしています。今後の取り組みとして新たな対策手法や体験プログラム、企業の提携、環境学習等を通じて、対応していきたいと考えています。 以上